



### MIKI INTERNATIONAL ASSOCIATION

VOL. 39

2010. 7

平成22年7月

三木市国際交流協会



5月21日(金)、10時から、平成22年度三木市 国際交流協会総会を三木市立教育センターで開催 しました。会場には協会の会員など50名を超える みなさんに参加いただきました。

総会は前田君司会長のあいさつに続き、藪本市 長の祝辞を北井理事に代読いただきました。続い て藤本議長、松本教育長に祝辞をいただきました。 衆議院議員高橋昭一様のご令室もご出席いただき ました。なお、会計報告は有野理事、進行は萬谷 副会長、閉会あいさつは西谷副会長でした。

議長、前田会長の司会で進められた議事では、 平成21年度事業報告、平成21年度決算報告、平成 22年度事業計画、平成22年度予算案について、原 案通り承認されました。

なお、所属する団体の組織替えや人事異動による新しい理事を含めて25名のみなさんに就任いただくことになりました。(理事名簿・決算・予算は3頁に掲載しています)

総会のあとの記念公演では、神戸インドネシア 友の会副会長の森井國興氏に「インドネシアの調 べ」と題してお話しをしていただき、有志の皆さ んにインドネシア民族楽器「アンクルン」演奏を していただきました。森井氏はインドネシア留学を 助務を経て、現在、友の会でインドネシア留学生 とともにアンクルンの紹介、普及に取り組んでお られます。公演内容は4頁にまとめて掲載してい ます。 MIA General Assembly was held on May 21 at the big seminar room of the Miki Education Center attended by over 50 people.

MIA President Maeda made an inaugural speech. Deputy Mayor Kitai read the congratulatory speech on behalf of Mayor Yabumoto, Chairperson Fujimoto and Superintendent Matsumoto made their congratulatory speeches.

Ms. Yasuko Takahashi participated on behalf of Mr. Takahashi, a member of the House of Representatives.

MIA General Assembly approved the events and the accounting report of 2009. It also confirmed the events and the budget of 2010 later. The special guest for the lecture was Mr. Morii, who is the vice-president of Kobe Indonesia Association who has been interacting with Indonesia. His peers performed an Indonesian traditional musical instrument, anklung while he gave us a presentation about Indonesia. You can find the story on the page four of this news report.



In the general assembly, Mr. Kimiji Maeda, president of MIA,, made an opening address appreciating for the members' cooperation in the events. Then he introduced a book of Japanese fairy tales that was translated by Indian woman and drawn by a member of MIA. NGO in India published recently.

In the congratulatory speech Mr. Yoshihide Yabumoto, Mayor of Miki, made, he expressed his appreciation for the support from MIA this year. He also mentioned the importance of living together with foreign people in Miki.



総会あいさつ 前田君司会長

5月も中旬を迎え青葉若葉の色がますます鮮やかな初夏の候となりました。本日はお忙しい中、「平成22年度三木市国際交流協会総会」にご出席いただきありがとうございます。当協会は、昨年、設立14年目を迎えています。これ偏に、変わらぬご支援とご協力をいただきましたご来賓をはじめ、会員のみなさまのお陰と重ねて感謝申しあげます。

さて、昨年度は、広報誌 MIA でご承知のとおり、英語、韓国語、中国語、スペイン語、日本語など 9つのことばの教室、5回の国際理解講座、ボランティア研修、クリスマスパーティー、金物まつ り国際チャリティバザーなどを実施したところですが、特に、クリスマスパーテイー、英語落語、ことばの教室ジョイントミーティングには、例年にも増して多くのみなさまに参加いただきました。

また、姉妹都市交流事業として、バイセリア市学生訪問団の受入れとコロワ市へ学生訪問団を派遣いたしました。その際、多くのみなさまにホームステイや案内など、交流事業のサポートをしていただきました。姉妹都市との友好をそれぞれのご家庭を核に深まめることが出来ました。ご協力ありがとうございました。

三木市においては、さらに国際化が進んでおり、 外国の人との出会いがますます多くなっています。 言葉や文化の異なる人々との出会いはうれしいこ とではありますが、外国の人に日本の生活文化を 知っていただき、逆に、わたしたちが外国の生活 文化を知ることも必要になります。このために、 当協会の活動をますます充実発展させねばと思い ます。本日の議案について慎重に審議いただくと ともに、今後のご協力をお願いしてあいさつとい たします。ありがとうございました。



お祝いのことば 藪本吉秀三木市長

さわやかな風が初夏の訪れを告げる頃となって まいりました。本日は、平成22年度三木市国際交 流協会総会が開催されますことを心からお喜び申 し上げます。

前田会長様をはじめ、皆様には、日頃から三木市の国際理解や国際交流を積極的に推進していただいておりますことに敬意を表しますとともに、市政の進展にご理解とご協力を賜り、心からお礼を申し上げます。

近年、異文化間の交流が活発になり、多文化共生のまちづくりが求められています。三木市においても、約1,000名の外国人の方が生活されており、外国人観光客も年々増えております。

そのような中で、皆様には、姉妹都市交流事業においてご尽力いただくとともに、市が発行している「三木生活ガイドブック」の韓国語版を作成していただき、約300人の三木市在住韓国人の方が安心して暮らしていただける環境が整いました。

皆様には、引き続き外国の方々と市民の皆様の 交流の輪が広がるような取組を進めていただき、 すべての方が安心して暮らせるまちづくりにお力 添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、三木市国際交流協会のご発展と皆様の ますますのご活躍をお祈り申し上げ、ごあいさつ といたします。



### 祝いのことば 議長 藤本 幸作

風薫本日際会にさり代ごれる日、後ののにに議で、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、



を申し上げます。

平素は、市議会に対しまして温かいご支援とご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げますとともに、皆様方におかれましては、さまざまな事業活動の推進を通して、国際交流や国際理解に大きく貢献をいただいておりますことに、心から敬意と感謝を表する次第でございます。

さて、皆様方におかれましては「ひとつの地球、ともに生きる」をテーマに、実施されております国際理解講座や語学講座、クリスマスパーティーの開催や、姉妹都市の方々との交流などの活動が年々盛んになっておりますことは、誠に意義深く、関係の皆様方に重ねて感謝申し上げる次第でございます。

市議会といたしましても、皆様方と力を合わせながら、国際交流の一層の推進に取り組み、国際理解の進展を図ってまいる所存でございますので、今後とも、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げる次第でございます。

最後になりましたが、三木市国際交流協会の今後 ますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸をご 祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

### メッセージ 衆議院議員 高橋 昭一

平成22年度総会・公演の ご盛会を心よりお慶び申し 上げます。

日頃より、市民のあいだに 国際意識を高め、国際関係 の発展と改善にご尽力賜り、 心より感謝申しあげます。



「竹が奏でる生命の音楽」

アンクルンの独特の響きに皆様、心癒されていらっしゃることと思います。

本日、ご参集の皆様の今後ますますのご多幸とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

### 平成22年度国際交流協会役員(敬称略)

会 長 前田君司

副会長 堀田康郎·西谷仁孝·萬谷恵子

理 事 奥川正之・永田二朗・上羅尭己

清水欣也・奥野峯子・河合正司

三村広昭 · 戸田公誠 · 安井由次

三宅英男·桝田邦夫·中西真佐子

芝 篤志

監事 有野勇・井上 薫

顧 問 藪本吉秀・松本明紀・岡田 保 以上の方々に就任いただきました。

### 平成21年度収支決算

収入額 8,448,040円 支出額 7,872,038円 差引額 576,002円 差引残高 0円

収 入	単位:円	支 出	単位:円
項目	収入額	項目	支出額
会 費	948,000	会議費	7,020
補助金	3,330,000	事務局費	3,526,384
事業収入	3,447,350	事業費	4,238,634
繰 越 金	702,690	予 備 費	0
寄付金	20,000	積 立 金	100,000
雑収入			
計	8,448,040	計	7,872,038

### 平成22年度予算案

収入額 7,664,002円 支出額 7,664,002円

差引残高 0円

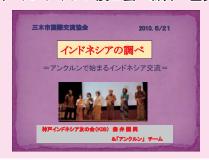
収 入	単位:円	支 出	単位:円
項目	収入額	項目	支出額
会 費	850,000	会議費	10,000
補助金	3,287,000	事務局費	3,781,312
事業収入	2,950,000	事業費	3,722,690
繰越金	576,002	予 備 費	50,000
寄付金	0	積 立 金	100,000
雑収入	1,000		
計	7,664,002	計	7,664,002

会費納入について: 今年度会費納入頂き、ありがとうございました。これから払い込みの皆様はよろしくお願いします。また、お知り合いの方にお声かけ頂き、「会員増加」にご協力いただければありがたいです。

### 5月21日 総会記念公演

### 「インドネシアの調べ」

神戸インドネシア友の会 森井 國興 氏



神戸インドネシア友の会副会長、森井國興氏は、 6年間のインドネシア滞在中に地元の人々と親し くなられ、文化に興味を持たれました。そして、 帰国後もインドネシアとの交流を活発に続けてお られます。

「うさぎおいし、かのやま…」思わず口ずさむ懐 かしいメロディ。アンクルン演奏の「ふるさと」 で公演は始まりました。バックのスクリーンには 古きよき日本を彷彿するようなのどかな田園風景 が映しだされています。



### インドネシアについて

☆ インドネシアは北半球?南半球? 正解は '両方

スマトラ島、ジャワ島など大小の島々が赤 道を跨いで東西に楕円形のように広がる

☆ インドネシア国旗

1945年にオランダから独立したので国旗はオラ ンダ国旗の3色(赤白青)の内の赤白2色を使用



### アンクルンとは

- インドネシア・バンドン市発祥
- 生育4年の黒竹を1年干し、削って音階を調整
- セットにして独奏(写真左)
  - 各人がパーツもち、合奏(写真右)

#### アンクルンの魅力

- \* 心癒される 不思議な楽器
- -人でも、大勢でも、楽しめる
- お互いの気持ちが通じる







セット (組み立て)

パーツ(音階別)

### 演奏曲

- アメージンググレース
- 喜びの歌

- ノーマ・マニス (可愛い女の子)
- こいのぼり
- 瀬戸の花嫁 他3曲(記事に掲載)



### インドネシアの文化や人々

インドネシア(イスラム)を理解する

- ・商魂たくましい
- ・真面目ではずかしがりや
- ・貧しいけど恵まれている
- ・断食(ラマダン)の習慣
- ・お正月(レバラン)は毎年10日早くなる
- お祈りはどこでもできる



### 日本との相違点については

### 「言葉」に触れる

インドネシア語が面白い

- \* 「人」は、たくさん居るのに「オラン」と言う
- 「米」は、たくさんあるのに「ナシ」と言う
- \* 「魚|は、食べていいのに「イカン|と言う
- \* 「お菓子」は、お客さんにも「クエ」と言う 日本語とよく似た言葉

チャンブル、ナマ、アンダ、スカ

### 「習慣」を考える

日本とインドネシアの違い?

- ①「神」への祈りを欠かさない
- ② 家族・親族・近隣と助け合う気持ちが強い
- ③ 古くなった物も大切に扱う
- ④ 人には笑顔で応える

日本のよき昔が、インドネシアには残っています

### 「食べ物」を楽しむ

インドネシアの特徴

- ① インドネシアでは最初に「ごはん」が出る
- ② 手で食べる人が今も多い
- ③ 四季がないので、いつも同じメニュー
- ④ 多くの香辛料で、味を工夫している
- 例:ナシゴレン(焼き飯)には8種の香辛 料をいれます

公演終盤、インドネシア国民的愛唱歌、日本で は美空ひばり、小林明、都はるみに歌われた「ブ ンガワン・ソロ」の紹介の際、森井氏はことばに 詰まられました。実は、公演当日、この歌を作詞、 作曲されたグサン・マルトハルトノ氏の逝去の悲 報が届いたのです。

2009年にグサン氏を訪問されたときのことを 思い出されたようでした。天国のグサン氏に届く ようにと心を込めて演奏されました。

最近の活動はインドネシア留学生や看護、介護 十研修生とともにアンクルンの普及のために、学 校や公民館などで演奏されています。また、アン クルンはディケアセンターで音楽療法にも活用さ れています。

最後にインドネシアの美しい夕陽の映像と、「ス キヤキ」(上を向いて歩こう)の演奏に心癒されま した。

### 6月20日 第1回国際理解講座

### 「インドの経済発展と日本」

神戸松蔭女子学院大学名誉教授 黒澤 一晃 先生



6月20日、関西日印文化協会前会長・神戸松蔭 女子学院大学名誉教授の黒澤一晃先生に、「インド 経済の発展と日本」と題して講演をしていただき ました。黒澤氏がインド経済の研究を始められた 50数年前には、インドの経済の研究は稀有でした。 その中で、ロンドン大学へは留学、インド共和国 では研究員として、長年研究に専念されてきまし た。その研究をもとにインド全般にわたり、非常 に興味深い話をしていただきました。インドの国 旗・地図が掲示された会場には、30名近い出席者 が集いました。



サフラン色―勇気とヒンズー教 緑―公正とイスラム教 白―平和と2つの宗教の調和 中央の紋章―古代インドのアショカ王の 仏典記念塔の法輪

### インド経済について

#### インド経済の基盤

…面積:328.7平方 km、気候:モンスーン、 食糧生産:2億トン超、人□:10億2,874万人

### インド経済社会の捉え方

…イギリスの植民地支配、複合社会(宗教・\*カースト・人種・言語)、格差社会

#### 政治体制

・・・議会制民主主義、連邦制、言論の自由、 文民統制、政教分離

インドにおける経済建設

…社会主義型社会の建設、資本形成のため の産業統制

### インド経済の特徴/問題点

…政府事業の非効率、低生産性、格差問題、 きれいな三角形の人口比率(日本の人口 比率は今にもひっくり返りそう)、イン フラの未整備、縁者びいき、肩書き重視、 経営代理(人)制度

\*カースト:閉鎖的な社会集団の呼称 バラモン(司祭)⇒クシャトリア(王族) ⇒バイシャ(庶民)⇒シュードラ(隷民) ⇒アウトカーストの人々

インドは独立以来、計画経済的手法によって経済建設を進めてきましたが、最初の40年間は、その進歩は遅々たるものでした。ところが、1991年の大転換(自由化一deregulation)以来、現在のインドは目覚しい発展を遂げつつあります。

### ネルー首相の演説

イギリスから独立を勝ち取り、インド共和国初代首相となった」、ネルーの1947年8月14日深夜に行なわれた独立式典の世紀の大演説のテープ録音は非常に貴重なもので、皆、聞き入りました。8月14日深夜の独立となった理由は、イギリスの決めた8月15日はインドの暦によると最も縁起の悪い日にあたっており、打開策として8月14日深夜に行なわれました。

### A Tryst with Destiny [運命との約束]

Long ago we made a tryst with destiny, and now the time comes when we shall redeem our pledge, not wholly or in full measure, but very substantially. At the stroke of the midnight hour, while the world sleeps, India will awake to life and freedom.

A moment comes which comes but rarely in history, when we step out from the old to the new, when an age ends, and when the soul of a nation long suppressed finds utterance.

### 雑感

若い頃から何度もインドに行かれ、政府や現地の経済界と進められた国家計画の話やインドに影響力の強かったイギリスなどヨーロッパとの政治のかけひき、そして経済、語学、文化、宗教など多方面からの話はめったに聞けるものではなく有意義でした。また、今日でも細かく分ければ、2000ものカーストがあるといわれ、各カーストが職業と結びつくインドですが、日本企業がインドに進出した際、カースト制度にしたがわなかったにもかかわらず、うまく組織化していったS自動車さんのエピソードは興味深いものでした。

### 国際交流12年間感謝…ありがとうございました。

My Appreciation for 12 years' Memories in MIA Office

三木市国際交流協会元事務局長一倉橋哲雄

Former Director of MIA: Tetsuo Kurahashi

真夏が近づいてきましたが、三木のみなさまにはお元気でお過ごしでしょうか。私は三木市国際交流協会事務局を12年間お預かりして、みなさまのご支援やご協力をいただきながら勤めて参りましたが、去る3月末をもって退職いたしました。長い間お世話になり、誠にありがとうございました。

すでにご承知のように、後任を河越恭子様にお願いし、4月からの新年度事業も着々と進められています。どうぞ、今後とも三木市国際交流協会の事業が充実発展いたしますよう、従前と変わらないご支援とご協力をいただきますよう伏してお願いいたします。私も会員ボランティアとして、みなさまと一緒に参加し協力させていただきます。さて、この機会に三つの事柄について書かせていただきます。

### (1) 「バングラデシュ女子校トイレ」と MIA A box of toilet in a girls' school of Bangladesh and MIA



MIA の事業について、みなさまとともに汗を流し知恵を絞ってきた懐かしい思い出が数多くありますが、なかでも毎年秋に行われる「金物まつり協賛・国際協力バザー」はやり甲斐のある事業でした。いただいた生活用品や衣類などを多くのボランティアのみなさまの協力を得て、ほとんど完売し30万円前後の浄財を集めて「国連難民センター」「NPO 団体」などに寄付させていただきました。とりわけ、そのなかの「NPO 国際エンゼル協会」では、この寄付金をそのままバングラデシュ

の田舎にある女子高などのトイレ建設に役立てていただいたのです。昨年までに、すでに5年間で5つのトイレがバングラデシュのあちこちに建てられ、特に女子のみなさんに使われて感謝されているということです。

三木の私たちには、それらのトイレを見る機会 がありませんでしたが、自由の身になった私は、 国際エンゼル協会の「研修交流ツアー」に参加さ せていただき、そのトイレを見て参りました。そ れは、バングラデシュの首都ダッカから、車で3 時間あまりの片田舎にある女子校にありました。 ちょうど雨季に差し掛かったため車が通れず、雨 でぬかるんだ道を力車(人力三輪自転車)や徒歩 で行くと、その先に厚い壁の建物が口の字に並ん でいました。それが女子校です。先生たちに案内 されてコーナーへ行きますと頑丈なセメントブ ロック建てのトイレと手押しポンプ付きの洗い場 までありました。トイレのドアは鍵がかかってお り、ドアの表面には「三木市・日本…donated by Miki International Association of Japan in 2009」と鮮やかに書かれています。この学校の生 徒は約200人ということですが、先生は全員男で した。「先生の給料は政府補助がありますが、施設 そのものは村で建てねばなりません。貧しいこの 村では校舎を建てるのがやっとです。トイレなし できましたが、三木からトイレを頂き感謝してい ます。しかし、生徒はできるだけ家でトイレを済 まさせるようにしています。人数が多いため、ど うしても必要な場合に限って使わせています。で きれば、せめて後、2、3のトイレをいただきたい のですが・・・」と遠慮勝ちにいわれました。

ところで、バングラデシュという国はパキスタンから独立してできた世界最貧国といわれる国です。首都はダッカ、一応民主主義体制ですが、日本の3分の1程度の土地に1億4千万人の人口を抱え、ジュート栽培やバナナ、マンゴーを生産する農業以外には、これといった産業がありません。実際、新設となったダッカ国際空港を一歩市街地に出ると、そこは別世界でした。傷だらけのバスやトラック、隙間を縫って走る人力車とバイク、場所をかまわず横断してくる人の群れ、中には物

乞いをする親子連れや体の不自由な人々も車に近づいてきます。沿道にはビルもあるのですが、少し郊外になると間口1間もないトタン屋根の店が並んでいて、野菜や果物、家具や生活用品などを店いっぱいに並べて売っています。多くの人が群れるこのような場所にはトイレらしい場所が見当たりませんでした。なぜ、学校にトイレが必要なのかを理解できました。

しかし、バングラデシュの人々の名誉のために記しておきますが、バングラの人々、特に子どもたちの瞳は輝き、端正な顔に笑顔を浮かべて私たちを迎えてくれました。確かに、終戦直後の日本のように人々の暮らしは貧しいのですが、よく勉強し、明日への夢を持ち続けているように見えました。リーダーの方によると、「5年前に比べると農村も格段に改善されていない学校ですが、女子も教育を受けられるようになったバングラデシュの田舎で、三木からの贈り物が大切に使われ、感謝されていること知っていただきたいと思います。

### (2) 「日本語を覚えたい外国の人々」と「MIA 日本語指導ボラアティア」

### Foreign people wishing to learn Japanese and MIA Japanese volunteers

「MIA ことばの教室」も心に残る事業です。英語、 中国語、スペイン語、韓国語など外国語教室に混 ざって「にほんご教室」があります。初めの頃は、 せいぜい10人にも満たない外国の人々と数名のボ ランティアで細々とやっていましたが、この2,3年 は受講する人もボランティアも多くなり、今年は 毎回、30名以上が10グループ以上に分かれて、そ れぞれの国の言語や日本語のレベルに合わせて学 習しています。私も「にほんご教室」だけは、年 間を通して他のボランティアのみなさまとともに 続けさせていただいています。教室に来る受講生 のほとんどは、三木市の企業に勤める人たちです。 忙しい勤務ですが、夜7時からの教室に、徒歩や 自転車でやってきます。そして、真剣な態度で日 本語の会話や文字に取り組みます。私たちボラン ティアは外国人受講生の真剣な態度に励まされて、 元気をいただくような気持になります。そして、 時には日本の生活習慣や文化を話題にしたり、逆 に受講者の国のそれを尋ねたりします。そうこう するうちに、お互い親しい友人や知人同士になっ たような気がします。これこそ草の根の国際交流 そのものだといえます。

今年度は、さらにうれしい事業が始まりました。 文化庁の委託事業に「日本語指導ボランティアス キルアップ研修」というのがあり、神戸の YWCA が受けることになりました。その事業を、MIA が中に立ち、三木市立教育センターで15回実施しています。参加しているのは、「MIA にほん語教室」のボランティアなど18名です。外国人に「にほん語」を教えるのですから、より多くのノウハウを身につけて、それを現場で活かしたいという私たちの意欲とそれを支援しようと教えてくださる YWCA の斉藤先生らの的確な指導が火花を散らすような毎回です。8月からは教育実習のように、実際の「にほんご教室」に YWCA の講師の先生方に来ていただき、その場その場の指導を受けます。この研修を受けることにより、ますます、「にほんご教室」が充実発展するよう願っています。

### (3) 姉妹都市交流事業の今後

### The exchange programs between two sister-cities an Miki City

12年間、全ての事業に精一杯かかわらせていただき、多くのみなさまと心を通わせ助けられ、私自身の狭かった人間的視野を豊かに広げていただいたことや多くの友人を得たことを本当に幸せに思います。三木市国際交流協会にかかわる人々のお陰で、定年後の人生を、とても意義深く幸せに過ごさせていただきました。

しかし、一つだけ残念なことがあります。それ は米国バイセリア市と豪州コロワ市との「姉妹都 市交流」です。ご承知のように全国の自治体は財 政赤字体質が深刻となっていますが、三木市も例 外ではありません。そこで、この事業は予算削減 のため、今年度も休止となっています。私の今回 の退職に当たっては、両市の市長と市議会から丁 寧な感謝状をいただきましたが、姉妹都市交流に ついては、両市とも深い思い入れがあるというこ とが判りました。私に当てていただいた感謝状で すが、中身はこれまで続いてきた姉妹都市交流事 業に対する三木市への感謝とその再開を望むメッ セージであると受け止めています。このことを、 みなさまにお伝えしたいと思い、あえて書かせて いただきたました。お互いの友好親善とは、どの ような苦境や困難にあっても、長く続いてこそ価 値があると思います。気持さえあれば、知恵を絞 り工夫をすることにより、より少しの予算でも再 開できると信じます。三木市とバイセリア市・コ ロワ市との親善関係が1年でも早く再開できるこ とを心から願っています。

最後になりましたが、改めてみなさまに感謝を申し上げ、三木市と三木市国際交流協会の発展とみなさまのご健勝を祈念して筆を置きます。 (2010年7月1日記)

# 高橋哲雄様 ありがとうございました。

事務局では、3月末に倉橋哲雄氏が退任されました。12年の長きに渡り、国際交流協会員の要望に応じて様々な事業を遂行され、また、ことばの教室では市内在住外国人の生活支援の先達となられました。姉妹都市(バイセリア市・コロワ市)の歴代訪問団長とはお互いをニックネームで呼び合うほど親密な間柄で、今後も交流を続けられることでしょう。

### 前田 君司 会長

倉橋前事務局長は永年にわたり、当協会の運営、並びに発展のため誠心誠意尽くされました。また、いつも明るく前向きに仕事に打ち込まれ、会員の方々にも活気を与えてくださいました。そして、姉妹都市交流では綿密に練られたプランで訪問団を歓待され、両市間の結束を更に強めることができました。これらの功績に感謝し、敬意を表します。ありがとうございました。

### 永田 二朗 理事

倉橋さんは、三木市中学校校長を平成10年3月退職のち協会事務局長に就かれた。この12年間立派な協会 に育てていただき感謝します。

多くの業績の中で私は特に〈ことばの教室〉を挙げたいと思います。英語・中国・韓国・スペイン・日本語の5ヶ国語。9教室。受講生約150名に発展させ、協会の地域国際交流の中軸にされたことは倉橋さんの情熱の賜物であって心からの敬意を表します。

### 木村 松雄(英語実用クラス)

4月下旬何時ものように国際交流協会に電話を入れたところ、倉橋さんは3月末で退職されたとのことで初めて知った次第です。その後如何お過ごしでしょうか。

同年輩のよしみで何となく波長が合い公私共にお付き合いさせて頂きました。確か、三木市と姉妹都市の Visalia の訪問団が来たとき懇親会に声を掛けてくれたのが最初だったかと思います。その後国際理解講座では私の英国人の友人、George Meegan,の南米最南端から北米最北端迄徒歩での縦断 "The Longest Walk"、又私自身の人生を振り返る機会を与えてくれた "船とわが人生" の講演でお世話になる等有難うございました。

冷えたビールの美味い季節がやってきます、一献傾けたいですね。

### 山口 玉花(中国語初級講師)

私の倉橋前局長との出会いは、1枚の協会のパンフレットを見て飛び込みで窓口に行った時に溯ります。 それから十数年が経ち、その間局長の熱心に活動される姿と温かい人柄に惹かれ、様々な催しに参加する と共に多くの経験もさせていただきました。その中から学んだもの。それは、国際交流活動とは決して無 理に肩に力を入れてするものではなく、ごく自然な人間同士の交流であるということです。この自他共に 居心地のよいスタイルに大変感銘を受けました。

今日まで残して下さった数々の活動の礎となるものは、皆さんの手できっと受け継がれていかれることと思います。長年にわたってお世話になり、感謝の意を託してご健勝と更なるご活躍をお祈りします。

### Nick Grodzicki(英会話中級講師)

When I came to Miki, I was shown around by the ever-energetic Mr. Kurahashi. I was impressed with his vigor. Over the next five years, he never once appeared tired to me - always brimming with energy.

僕が三木に来た時、常にエネルギッシュな倉橋氏が案内してくださいました。氏の活動力には感心しました。それから5年間、一度も疲れた彼を見たことがありません。いつも活気に満ちていました。

### 新田 俊子(英会話初級B講師)

倉橋先生のご退職を驚いて聞きました。

MIA発足以来、温かいご指導をいただき感謝の思いで一杯です。

現在のMIAの強固な基盤は、先生の柔軟なアイデアとエネルギッシュな行動によるものと思います。

先生の姿が見られないMIAは寂しく、主役のいない舞台のようにも感じます。

英語教育にとどまらず、日本の歴史、慣習、文化などさまざまなことを、何気ない会話の中から教えていただきました。一方、音楽などの柔らかい話題でも楽しませていただきました。

日本人、外国人を問わず、人と人が心を通わす貴重な機会をたくさんいただき、私の心の宝になりました。
改めてありがとうございました。

### 小林 怜子(韓国語、英語初級クラス)

平成元年、市内T小学校に校長として赴任された倉橋先生の下で、新米教頭として勤めさせていただいたのが初めての出会いです。何より心に残っているのは、"Simple is the best."です。難しい用語を使うのが偉いと思い込んでいた私には新鮮な発見でした。

あれから22年、大の英語拒否症候群だった私が今は英会話にトライしています。シンプルな英語の美しさが日本語の素晴らしさと呼応することを教えてくださった倉橋先生に"Thank you very much.

### 西 美知子(英語表現活動クラス)

今年2月、梅がほころび始めた頃、風の便りで、倉橋氏の引退を耳にした。「えーっ、うそっ一」と、半信半疑だった。が、日が経つにつれ噂が真だと判明した。ショックだった。まだまだ、と思っていたから。MIA の公の場で、何かとお世話になったが、同世代のよしみで、過ぎ去った時代に同調する部分もあって、楽しく会話が弾んだこともあった。と言っても、私は聞き役で教えていただく事ばかりであった。最も記憶に残るのは、「白州次郎」についてである。感想文も読ませていただいたが、僭越ながら、無駄のない良い文章だと感動させられた。お勧めの三田「心月院」へはまだ行く機会を得ていないが、是非ゆっくり散策したいと思っている。心身ともにゆとりのある時期に、すばらしい後継者にバトンタッチされ、後顧の憂いなく、悠々自適の生活への選択は、氏の生きる美学かもしれぬと、納得する昨今である。

#### 片山 式子(英語表現活動クラス)

私が国際交流協会会員になって10年が経つ。新入会員の 私に「お義父さんはお元気ですか?」と尋ねてくださった のが倉橋先生。

義父はMIA発足に携わり、理事に就いていたので、お出会いするたびに消息をたずねてくださった。

倉橋先生といえば、気さくなお人柄に幅広い人脈と、さ すが校長先生と感服してしまう人心掌握術の持ち主。

何度かホストファミリーを経験させていただいたが、そのたびに先生のおもてなしの心に多くを学ばせてもらった。 それゆえ「倉橋せんせのためなら、えーんやこーら!」 ということになった。

われらが倉橋事務局長の「えんやこら」に「おつかれさま」 と「ありがとうございました」を!





### センゲ ナンサルマ(日本語クラス)

2008年3月、私はことばの教室で倉橋先生と始めて会いました。先生は優しくて、とても親切にしてくれました。初めは日本語が全くわからなかったけど、今は少しわかるようになりました。クリスマス会にモンゴルのお母さんも来て、一緒に楽しみました。これからも、日本語の勉強を頑張りますので、よろしくお願いします。

### 市川 婷婷(日本語クラス元受講生)

私は、小学校5年生の頃から日本語教室に通い始めました。当時は、日本語が全然分からなくて困りましたが、倉橋先生とボランティアのみなさんが親切に教えてくれたことが、今でも印象に残っています。また、倉橋先生とほかの先生たちと一緒にたつの市に行ったこともおぼえています。とても楽しかったです。今、中学生になって、部活でいそがしくて、こられなくなりましたが、いつも、心の中で感謝しています。倉橋先生、今まで、本当にありがとうございました。



### "交流のとびら"

21世紀東アジア青少年大交流計画 インドネシア学生共和国編

7月10日(土)、兵庫県に派遣された約20名のインドネシア高校生のうち5名が三木を訪問されました。これは、財団法人日本国際交流協力センター(JICE)が毎年6,000人程度の青少年を日本に招へいし、相互理解と友好関係の促進を目的とした交流プログラムの一環で、当協会員5名でお世話をさせて頂きました。

長旅でお疲れ気味でしたが、口吉川公民館で浴 衣に着替えた途端、三木の団扇を持ってカメラの 前でおどけてポーズをとり、笑い声が弾けました。 その後、善祥寺で今が見ごろのハスを観賞し、住 職さんがハス茶やハスの冷やしぜんざい等で持て 成してくださいました。話が弾み、和んでいくう ちに我々は「おかあちゃん」、「ママ」と呼ばれて いました。

翌日は神戸で歓送会。多種多様な州の民族衣装に着替え、歌や踊りを披露してくれました。首都のあるジャワ島は控えめな色合いの衣装、スマトラ島のそれは原色できらびやかでした。自国の文化を継承し、外国の人に紹介しようとする彼らの民族意識の高さに感心しました。会の終わりでは、ホストファミリーも学生も名残惜しく、涙のお別れとなりました







ジャカルタの皆さん



スマトラ島の皆さん

### ことばの教室 今年も盛況です!!!

5月第3週から始まった11クラスの「ことばの教室が順調に進んでいます。今年は博内をに引き続き韓国語、そして、上海万門のでしょうか、中国語が好評語でした。また、日本語である約25名の外国のもと、Aとの共成であられます。今年はYWCAとの共成での分別をでいます。今年はアンティでおらり月まで日本語が開催され、ますますののおいます。英会話のようできます。ことはのように関心のある方、どうぞご参加ください。

#### クラス 月曜日夜 英会話実用 6名 月曜日夜 日本語(ペア学習) 40名 火曜日夜 韓国語(テキスト) 14名 火曜日夜 韓国語(テキスト) 10名 火曜日夜 英会話中級 7名 水曜日夜 英会話初級A(テキスト)14名 木曜日昼 英会話初級B 5名 木曜日夜 中国語(テキスト) 10名 木曜日夜 中国語 (テキスト) 12名 金曜日昼 英会話初級 C 8名 金曜日夜 スペイン語(テキスト) 6名 合計 132名

### 文化庁委託事業

### 「スキルアップ講座」

"Teaching is learning."(教えることは学ぶこと)

6月8日に'はじめて日本語を学ぶ学習者向け'(6月~9月まで全15回)の日本語ボランティア講座が始まりました。当協会・ことばの教室の日本語ボランティアの方々、将来サポートしたいと思われている方々、総数20名の熱心な方々が受講されました。

第1回は、"ことばのコントロール"というテーマで、学習する必要のあるもの、ないものを判別し、整理することが、初めての学習者を支援するには重要だと教わりました。日頃、何気なく使っている日本語を分析し、問題点を探り、意志伝達のための手段としての'ことば'にしていく過程を学習しました。15回を修了する頃には、即戦力を備えたボランティアさんの誕生が期待できることでしょう。



### 平成22年度事業計画(7月~3月)

- 7/16 広報誌 MIA39号発行 11/6 金物まつりバザー
- 7/26 スキルアップ講座 演習開始 11/7 金物まつりバザー
- 8/4 三木生活ガイド(ポルトガル語版)作成開始 11/26 広報誌 MIA40号発行
- 8/29 第2回国際理解講座(井上 実由紀 氏) 12/19 2010クリスマスパーティー in Miki
- 9/1 国際チャリティーバザー用品受入れ開始 12/24 三木生活ガイド(ポルトガル語版)完成
- 9/12 第3回国際理解講座(倉橋 哲雄 氏) 1/15 第4回国際理解講座(JICA& 神戸ナマナク 10/13 国際チャリティーバザー準備 ラブ)
- 10/16 こども異文化交流 2/6 第5回国際理解講座(英語落語)
- 10/20 国際チャリティーバザー準備 3/1 広報誌 MIA41号発行
- 10/27 国際チャリティーバザー準備 3/6 ことばの教室ジョイント・ミーティング
- 11/5 国際チャリティーバザー最終整理 3/25 第2回理事会

### 事務局長就任あいさつ 河越 恭子

本年4月より事務局長に就任しました河越恭子です。会の設立よりご尽力いただいた倉橋氏の国際交流への熱い思いを継承し、会員の皆様とともに国際理解、国際交流事業が円滑に開催できますよう努力いたします。今後とも、ご指導・ご鞭撻の程をよろしくお願いします。

"Variety is the spice of life." That's my motto.



2010MIA 三木市国際交流協会 2010MIA

## 金物までり版費 E 以子ぞりティーバザー 11月6日

みなさまの「愛の一品」をご提供願います。

• いただく期間: 平成22年9月1日~10月29日

いただく場所: 市役所4階市民協働課内三木市国際交流協会事務局

電 話: (0794)89-2318



提供いただきたい物			
衣料品(新品)	タオル・シーツ・ハンカチ・座布団カバーなど		
家庭用品	台所用品(器・鍋など)・お風呂用品(石鹸・シャンプー・清掃用具)掃除道具用品・洗剤(よく売れます)		
食品	コーヒー·紅茶·日本茶·てんぷら油·調味料·海苔など(賞味期限内のもの·よく売れます)		
調度品	置時計・骨董品(茶器・盆・食器・陶器など)・弁当箱・文具		
小型電気器具	ポット・湯沸しポット・小型扇風機・ラジオなど		
小物	ハンドバック・定期入れ・財布・バッグ・靴・サンダル・玩具など		
衣類(新品)·履物	スポーツウエア・下着シャツ・靴下・T シャツ・Y シャツ・ブラウス・ベスト等		

昨年、2009年は100名のみなさまから多くの品々をいただきました。バザーでは373,140円のお金になり、日本 UNHCR 協会、日本 UNICEF 協会、PHD 協会、国際エンゼル協会、三木市ユネスコ協会などに寄付しました。今年も 世界の人々にみなさまのお気持ちを伝えることが出来ればと願っています。必要な場合には、直接いただきにあがります

### 編集あとがき



梅雨の晴れ間の日差しが暑い夏を予告するかのようですが、お変わりありませんか。 5月の総会で承認いただいた事業は順調に進行しております。

また、本年度会費についてもご納入いただき、ありがとうございます。今後もさまざまな事業へのご支援、ご協力をよろしくお願いします。

このM | A39号には、倉橋氏の会員の皆様へのメッセージと、会員の皆様からの贈ることばを掲載しています。紙面の関係で会員全員にお願いすることができませんでした。どうぞ、ご了承ください。

### 編集·発行

### 三木市国際交流協会

Miki International Association

〒673-0492 三木市上の丸町10-30 (市民ふれあい部 市民協働課内) 〔ホームページ〕 http://www.city.miki.hyogo.jp/

TEL (0794) 89-2318 FAX (0794) 82-9755

(E-mail) kokusai@city.miki.hyogo.jp